



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社 フェイス
 コード番号 4295 URL <http://www.faith.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平澤 創
 (氏名) 佐伯 次郎

上場取引所 東
 TEL 03-5464-7633

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,639	△1.8	179	△35.5	179	△21.6	181	△1.8
25年3月期第1四半期	1,669	△94.0	278	△62.7	229	△71.0	184	△57.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 194百万円 (35.3%) 25年3月期第1四半期 143百万円 (△73.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	158.89	158.89
25年3月期第1四半期	160.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	22,586	20,690	91.6	18,159.94
25年3月期	22,611	20,552	90.9	18,038.91

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 20,690百万円 25年3月期 20,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	50.00	—	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年5月28日開催の取締役会において、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割することを決議しております。なお、平成26年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割の実施に伴う影響を考慮しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	△9.2	10	△98.2	△100	—	△150	—	△131.65
通期	7,000	4.0	300	△70.4	250	△77.7	200	△82.0	17.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年5月28日開催の取締役会において、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割することを決議しております。なお、連結業績予想(通期)の「1株当たり当期純利益」については、上記株式分割の実施に伴う影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	1,196,000 株	25年3月期	1,196,000 株
26年3月期1Q	56,657 株	25年3月期	56,657 株
26年3月期1Q	1,139,343 株	25年3月期1Q	1,148,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は、本日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成25年6月末時点での国内における携帯・スマートフォンの累計契約数は、1億3,849万件(※1)に達し、引き続き増加傾向にあります。特に、スマートフォンの需要が引き続き好調に推移しており、平成24年3月から1年間の携帯・スマートフォン出荷台数4,181万台(※2)のうちスマートフォンの出荷台数は、2,972万台(※2)と7割を超えるまでとなりました。高性能・高機能なスマートフォンやタブレット端末の普及により、SNS(ソーシャルネットワークサービス)やソーシャルゲーム、動画共有サイト等のサービスを中心に市場規模が拡大しており、ユーザーニーズに即した新たなサービスやコンテンツ流通のしくみ創りが求められています。

※1 一般社団法人電気通信事業者協会発表資料、※2 株式会社MM総研調べ

このような市場環境に対し、当社グループでは、クオリティを担保したコンテンツを流通させるための新しいしくみ創りを始めとした『マルチコンテンツ&マルチプラットフォーム戦略(様々なコンテンツを、必要なときに、必要な場所で楽しむことができる環境の創造)』を展開しております。また、付加価値の高い優良なコンテンツを速やかに市場に投入できるよう、自らも音楽や映像等のコンテンツ制作プロデュースを推進するとともに、普及が加速するスマートフォン向けの新たなサービスを提供するなど、ユーザーにとって利便性の高いサービスの提供を進めています。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1.8%減の1,639百万円、営業利益は前年同期比35.5%減の179百万円、経常利益は前年同期比21.6%減の179百万円、四半期純利益は前年同期比1.8%減の181百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<コンテンツ事業>

コンテンツ事業のうち着信メロディ事業は、スマートフォンへの移行により売上は減少していますが、拡大を続けるモバイル市場に対応したアプリケーションの配信強化等、スマートフォンユーザーの顧客獲得のための施策を推進しております。平成25年2月から未就学児向けの知育アプリケーションブランドとして

「Kidzaplanet™(キッズプラネット)」のサービスを全世界に向け開始いたしました。「すくすくリトミック!さわって遊ぼう!ワンダリズム」、「たのしくうごく!リズムスタンプ」、「きれいにせいとん!おかたづけしよ」など計7タイトルは、累計40万ダウンロードされました。そのうち半数以上がタイ、マレーシア、シンガポールといった東南アジア諸国でのダウンロードとなっており、日本国外でも人気のアプリケーションとなっています。また、平成25年1月にサービスを開始いたしました日本初のレコメンド機能を有するインターネットラジオ「FaRao™(ファラオ)」は、平成25年6月に西日本電信電話株式会社が提供する「光BOX+」に標準搭載され、ご家庭のテレビで様々な音楽情報を楽しむことができます。さらに、オリジナルビデオレターが作成できる「ピクミックレター」シリーズに、ギフトカードや本サービス限定「キティちゃんのぬいぐるみ」のセットメニューを新たに追加し平成25年6月より販売開始いたしました。

この結果、コンテンツ事業の売上高は着信メロディ事業の減収などにより前年同期比6.2%減の1,287百万円となり、営業利益は前年同期比39.6%減の153百万円となりました。

<ポイント事業>

ポイント事業については、既存加盟店の販売促進強化などで発行ポイントが堅調に推移したほか、政府管掌復興支援住宅エコポイントの需要増により、売上高は前年同期比18.5%増の352百万円となり、営業利益は前年同期比5.0%増の26百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて24百万円減少し、22,586百万円となりました。主として有価証券、投資有価証券が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて162百万円減少し、1,896百万円となりました。主として法人税等の納付に伴う未払法人税等の減少および支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて137百万円増加し、20,690百万円となりました。これは、配当金の支払いがあったものの、四半期純利益を計上したこと等によるものであります。これにより、自己資本比率は0.7ポイント増加して、91.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に開示いたしました数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成25年4月に株式会社エンターメディアの全株式を取得したため、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,076,535	12,342,373
受取手形及び売掛金	930,681	962,682
有価証券	540,780	341,226
商品及び製品	4,464	10,209
仕掛品	5,633	15,033
原材料及び貯蔵品	7,004	7,286
未収還付法人税等	696,298	699,069
繰延税金資産	224,075	220,808
その他	117,874	155,159
貸倒引当金	△21,627	△21,237
流動資産合計	14,581,719	14,732,612
固定資産		
有形固定資産	2,870,397	2,866,377
無形固定資産		
のれん	16,269	40,312
その他	317,804	323,578
無形固定資産合計	334,074	363,890
投資その他の資産		
投資有価証券	4,761,282	4,549,288
その他	63,890	74,517
貸倒引当金	△225	△215
投資その他の資産合計	4,824,948	4,623,590
固定資産合計	8,029,420	7,853,859
資産合計	22,611,140	22,586,471
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	203,006	171,594
短期借入金	409,884	409,884
リース債務	4,453	5,273
未払法人税等	145,492	23,942
ポイント引当金	175,091	176,394
賞与引当金	73,914	54,373
その他	411,137	506,736
流動負債合計	1,422,978	1,348,198
固定負債		
長期借入金	333,400	233,404
リース債務	13,030	19,613
繰延税金負債	156,077	162,805
退職給付引当金	127,394	126,145
その他	5,755	5,907
固定負債合計	635,657	547,875
負債合計	2,058,636	1,896,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,708,355	3,708,355
利益剰余金	14,103,509	14,227,571
自己株式	△751,372	△751,372
株主資本合計	20,278,491	20,402,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283,308	295,160
為替換算調整勘定	△9,296	△7,316
その他の包括利益累計額合計	274,012	287,843
純資産合計	20,552,504	20,690,396
負債純資産合計	22,611,140	22,586,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,669,316	1,639,776
売上原価	809,958	898,188
売上総利益	859,358	741,588
販売費及び一般管理費	581,083	562,081
営業利益	278,274	179,506
営業外収益		
受取利息	9,820	5,957
受取配当金	3,767	4,407
有価証券利息	965	642
為替差益	—	1,795
雑収入	1,348	1,709
営業外収益合計	15,902	14,511
営業外費用		
支払利息	2,015	1,815
持分法による投資損失	56,994	12,024
為替差損	5,568	—
雑支出	103	222
営業外費用合計	64,681	14,062
経常利益	229,494	179,956
特別利益		
事業譲渡益	—	28,320
特別利益合計	—	28,320
特別損失		
固定資産処分損	3,460	41
投資有価証券評価損	2,573	—
移転費用	—	2,253
特別損失合計	6,034	2,295
税金等調整前四半期純利益	223,460	205,981
法人税等	44,048	24,952
少数株主損益調整前四半期純利益	179,412	181,028
少数株主損失(△)	△4,973	—
四半期純利益	184,386	181,028

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	179,412	181,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,028	12,032
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,394	1,798
その他の包括利益合計	△35,422	13,831
四半期包括利益	143,989	194,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,963	194,859
少数株主に係る四半期包括利益	△4,973	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1,371,654	297,661	1,669,316	—	1,669,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,248	—	5,248	△5,248	—
計	1,376,903	297,661	1,674,565	△5,248	1,669,316
セグメント利益	253,571	24,780	278,352	△78	278,274

(注) 1. セグメント利益の調整額△78千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1,287,044	352,731	1,639,776	—	1,639,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,376	50	3,427	△3,427	—
計	1,290,421	352,782	1,643,203	△3,427	1,639,776
セグメント利益	153,244	26,010	179,254	252	179,506

(注) 1. セグメント利益の調整額252千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。